

BF-TM8250-JA

Enhanced Conventional Mobile Radio



SFR 機能搭載

- ・ SFR (DMR デジピーター)
- ・ 送信割込み機能 (ユーザー役割・無線機階層ベース)
- ・ SMS データ送受信
- ・ SMS メッセージ音声読み上げ機能
- ・ 認証制御付き遠隔停止・復帰機能
- ・ マイクキーパッドバックライト (自動点灯)



Be1One
Communications for Efficiency and Safety

430MHz 帯 BF-TM8250-JAUH 50W モデル
144MHz 帯 BF-TM8250-JAVH 50W モデル

BF-TM8250-JAUL 20W モデル
BF-TM8250-JAVL 20W モデル
(20W モデルは受注生産です)

Overview

DMR Tier II に準拠した上位グレードモバイル DMR 無線機です。SFR (Single Frequency Repeater) 機能を搭載し、通常の FM/DMR モバイル機としてはもちろん SFR 基地局としても機能します。また音声による読み上げ機能により運転中や作業中に無線機を目視せずチャンネル選択設定などを把握できるよう、車載業務無線用途として安全で確実な運用に配慮した機能を搭載しています。

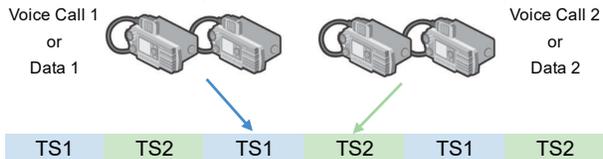
Hilights and Benefits

SFR (Single Frequency Repeater)

2つのタイムスロットを活用し同一周波数にて中継を行う事ができる DMR の特徴を生かした機能で、距離の離れたポータブル局やモバイル局間の通信の安定やサイト内の通信エリアを拡大出来ます。ターミナル局側では必要最小限の出力で運用でき稼働時間の改善につながり、同一周波数を使用するため電波資源の有効利用にも寄与します。

DMO (Direct Mode)

サイト・システム内の端末をダイレクトモードに設定することによりそれぞれのタイムスロットを2つの独立したチャンネルとして使用することができます。これにより同一周波数で2系統の容量を確保できます。(SFR との同時使用はできません。)



Remote Disable/Enable/Monitor

通信可能範囲にある場合無線機端末を個別に動作停止・復旧を遠隔で制御することができます。盗難や紛失した場合や遠隔地に設置されている SFR 局をコントロールする際に便利です。またこのモデルでは認証を追加する事により誤作動やいたずらも防止できます。またリモートモニター機能は遠隔で特定の無線機を送信状態にし、オペレータが送信操作できない緊急時に周囲の状況を音声で確認できます。

SMS

DMR のデータ通信機能を利用してテキストメッセージを送受信することができます。ACK 機能により送信の成功失敗を確認できます。メッセージ受信時にはアラートや未読メッセージアイコンが画面に表示されます。定型文は 10 件まで登録可能です。

Standard Accessories



附属品: リモートマイク (BF-61)、マイクハンガー、車載ブラケット (取付ネジ付)、DC 電源ケーブル (取付ネジ付)、取扱説明書 (英語版)

Optional Accessories

[受注生産・特販モデル]
BF-TM8250-JA シリーズ専用

- ・ AC100V (50/60Hz) 商用電源入力
- ・ 温度感知制御式冷却ファン2基
- ・ 電源自動切り替え制御
- ・ バックアップ電源端子 (充電機能付き)
- ・ 20 芯延長フラットケーブル換装
- ・ マイクハンガー (右側面)

BF-BSPW8250
基地局用卓上電源装置

●この無線機をアマチュア無線業務で使用するには、総務省のアマチュア無線局の免許が必要です。このモデルはアマチュア無線以外の通信には使用できません。
●本機は適合表示無線設備 (技術基準適合証明、または工事設計認証を受けた機器) ではありません。開局、変更 (増設・取替) にあたり、総務省へ直接申請が出来ない機器に該当し、一般財団法人 日本アマチュア無線振興協会 (JAR) の基本保証が必要です。

Features

Digital

- ・プライベートコール (個別呼出し)
- ・グループコール (グループ呼出し)
- ・オールコール (全局呼出し)
- ・緊急警報
- ・ワークアローン (静止状態警告)
- ・フルデュプレクス音声通信

Analog

- ・ CTCSS/DCS
- ・ ビジーチャンネルロックアウト (話中送信規制)
- ・ スケルチレベル調整
- ・ ナロー・ワイドバンド (NFM/WFM)

| 仕様 | | |
|---------------------|--|--|
| 型式・商品管理番号 | BF-TM8250-JAUH 50W 機 (JAN 4595058562014) BF-TM8250-JAUL 20W 機 (JAN 4595058562021) | BF-TM8250-JAVH 50W 機 (JAN 4595058562083) BF-TM8250-JAVL 20W 機 (JAN 4595058562090) |
| 一般定格 | | |
| 周波数範囲 (送信・受信) | 430.00 ~ 440.00MHz | 144.00 ~ 146.00MHz |
| モード | F3E/F7M(4FSK) | |
| 電波形式 | 7K60FXD (Data), 7K60FXE (Data/Voice), 8K50F3E (NFM 12.5kHz), 16K Φ F3E (WFM 25kHz) | |
| アンテナコネクタ | M 型 (SO-239) 50 Ω 不平衡 | |
| 送受信周波数ステップ | 12.5kHz/25kHz | |
| メモリーチャンネル | 1024 チャンネル 64 ゾーン | |
| 周波数安定度 | ± 1.5ppm | |
| 電源電圧 | DC 13.8V ± 15% (マイナス接地) | |
| 消費電流 | 定格送信出力時 50W 機: 約 11A 20W 機: 約 7A 受信時 約 0.4A (無信号時) | |
| 外形寸法 | 175(L) x 175(W) x 63(H) mm (突起物を除く) | |
| 本体重量 | 1.51kg | |
| 使用温度範囲 保管温度範囲 対環境基準 | -20°C ~ +70°C · -40°C ~ +80°C MIL-STD-810G | |
| 送信部 | | |
| 送信出力 | 50W 機 50W/20W/5W 20W 機 20W/10W/2W | |
| 変調方式 | F3E: リアクトランス変調 (8K50F3E) F7M: 4 値周波数偏移変調 (7K60FXD/7K60FXE) | |
| 最大周波数偏移 | ± 2.5kHz @ 12.5kHz, ± 5kHz @ 25kHz | |
| 不要輻射強度 | -36dBm ≤ 1GHz; -30dBm ≥ 1GHz | |
| 隣接チャンネル漏洩電力 | -60dB 以下 | |
| Vcoder | AMBE +2 TM | |
| 受信部 | | |
| 受信感度 | デジタル: 0.25 uV (5% BER) アナログ: 0.25 uV (12 dB SINAD) | |
| 選択度 | 60dB | |
| イメージ妨害比 | 70dB | |
| オーディオ出力 / 歪み | 3W / 3% (Typical) | |
| 伝導性不要輻射強度 | -57dBm | |

● 20W モデルは受注生産です。● この定格値は常温・常圧時の値です。定格・仕様・外観等は改良のため予告なく変更する場合があります。● この製品はスプリアス発射の強度を測定し基準を満たしていることを確認しております。● 通話の暗号化機能は使用できません。● 上記諸元は製造元による測定値です。



- 正しく安全にお使いいただくため、ご使用前に必ず「取扱説明書」の注意事項をお読みください。
- 「水、湿気、湯気、粉塵、油煙」等の多い場所に設置しないでください。「火災、感電、故障」の原因になることがあります。
- 爆発性雰囲気 (可燃性ガス、粉塵、粉末などが充満している空間) の中では電源を切って下さい。

● お買い求めは BelFone 正規販売店で

日本総輸入元 Flex Fleet 株式会社
最新の製品情報は公式ウェブサイトをご覧ください。
<https://flexfleet.ltd>

製造元 Fujian BelFone Communications Technology Co., Ltd.
A-15, Huaqiao Economic Development Zone, Shuangyang,
Luojiang, Quanzhou, Fujian, China 362000

● 製品の仕様・意匠等は改良の為予告なく変更する場合があります。● 製品の製品写真は撮影及び印刷の関係上、実際のものとは多少異なる場合があります。● 表示画面はハメコミ合成です。● このカタログについてのお問い合わせは、お近くの BelFone 正規販売店にご相談下さい。● カタログ中に記載されている社名、名称は各社の登録商標です。● BelFone 社は DMR Association Ltd. の Category 1 の正会員でありトレードマークの使用を許諾されています。● このカタログの内容は、2025 年 4 月現在のものです。